

令和6年度 青果物販売情勢について

令和6年7月18日（木）現在

【きゅうり】

今週までは不足感のある販売となる見通しだが天候回復に伴い次週以降は東北産露地物が本格出荷となる見込みのため、相場はジリ下げとなる見通しです。

【単価】 A 2300-2100 B 2100-1900

【ミニトマト】

気温の上昇に伴い、北海道・東北産夏秋作の増量が見込まれるため相場を弱めて売り込みをかける販売となる見通しです。

【単価】 AL 150-130 AM 170-150

【ピーマン】

茨城県産秋作の出荷が始まるが岩手・福島県産の入荷量は微増程度の見込みで特売需要から袋物中心に引き合いは強まり長期的には全体量が増えるため相場は強含の見通しです。

【単価】 AL 80-70 AM80-70

【インゲン】

福島県産の大幅増量タイミングを警戒しながらの販売となるが、高温の影響もあり穏やかな増量となる見込みで量販店からの注文は安定しているため相場は保合となる見込みです。

【単価】 AL 2000-1600 A 2400-2000

JAふくしま未来
営農経済部園芸課